

■平成28年度執行目標 上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画 等	H27 実績値	H28 目標値
上下水道部	水道業務課	1	水道料金等の新たな収納方法の導入	次期電算システムを導入し、現行電算システムからのデータ移行を確実にし、水道料金等のクレジット収納機能を構築する。	平成27年度に他団体の事例等を調査し、クレジットカード払いを含めた次期電算システムの導入に向け公募型プロポーザルを開始した。平成28年度に契約相手方を決定し、次期電算システムの導入、水道料金等のクレジット収納に向け例規整備等を行う。				
上下水道部	水道業務課	2	水道料金審議会の開催	「安心・安全な生活と暮らしを支える水道」を将来にわたって維持できるよう経営改善計画を審議し、経費削減や収入増加のための具体策について検討する。	平成27年度に水道料金及び公共下水道使用料審議会を立ち上げ、水道料金のあり方について諮問し、決算状況の分析や財政収支計画について審議を進めることができた。平成28年度において経営改善計画や水道料金等の改定案について審議し答申案をまとめる。				
上下水道部	水道工務課	1	「電気・計装・ポンプ設備の台帳」作成	突発的な故障による広範囲な断水を防ぐため、各水道施設の電気・計装・ポンプ設備の製造者、製造年月日、仕様、状態を調査し、調査内容を反映した「電気・計装・ポンプ設備の台帳」を作成する。	水道施設が老朽化し、突発的な水位計やポンプ、計装器内部の部品故障が増加した。				
上下水道部	水道工務課	2	緊急修繕部材の適正管理	水道管破損時の緊急修繕部材について最低限の在庫での管理により迅速な修繕対応と材料購入費用の低減を図る。	在庫数量の多少にかかわらず使用材料を補充していた為、材料の在庫減を図れなかったことから、使用時の再調達を控え一定数量まで減らす事で最低限の在庫数を維持し、棚卸事務の軽減と支出の削減を図る。	材料購入額(千円)		(1,568)	1500
上下水道部	下水道課	1	汚水処理施設の概成に向けて	平成32年度、汚水処理施設整備の概成に向け「木津川市アクションプラン」に基づき、未普及箇所の公共下水道の整備を図る。また、個別処理地域の理解を得ながら持続的な汚水処理施設の整備を図る。	京都府水洗化総合計画2015が策定され、本市においても「木津川市アクションプラン」を策定した。整備効率、財政状況、整備スピードなどを考慮し、整備手法を見直した地域については、理解を得る必要がある。				
上下水道部	下水道課	2	下水道事業会計への地方公営企業法適用業務の推進	下水道事業の経営の健全化、経営状況の明確化を目的に、平成29年度からの地方公営企業法の適用に向け、昨年度に引き続き、現有資産の調査・評価及び関係職員の知識習得のための研修並びに情報共有のための担当者会議等を必要に応じ実施するとともに、企業会計への移行に伴い必要となる公営企業会計システム等の導入を図る。	地方公営企業法の一部適用(財務部分)を前提として移行業務を推進することを基本方針とし、一昨年度、具体的に移行に向けた業務発注を行い、現有資産の評価方針を決定し調査を進めるとともに、職員研修を実施した。また昨年度、企業会計システム構築事業者と委託契約を締結し、職員研修も実施した。今年度は移行準備最終年度となるため、庁内関係部署と十分な事務分掌調整に時間を要する。				